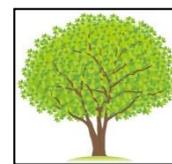


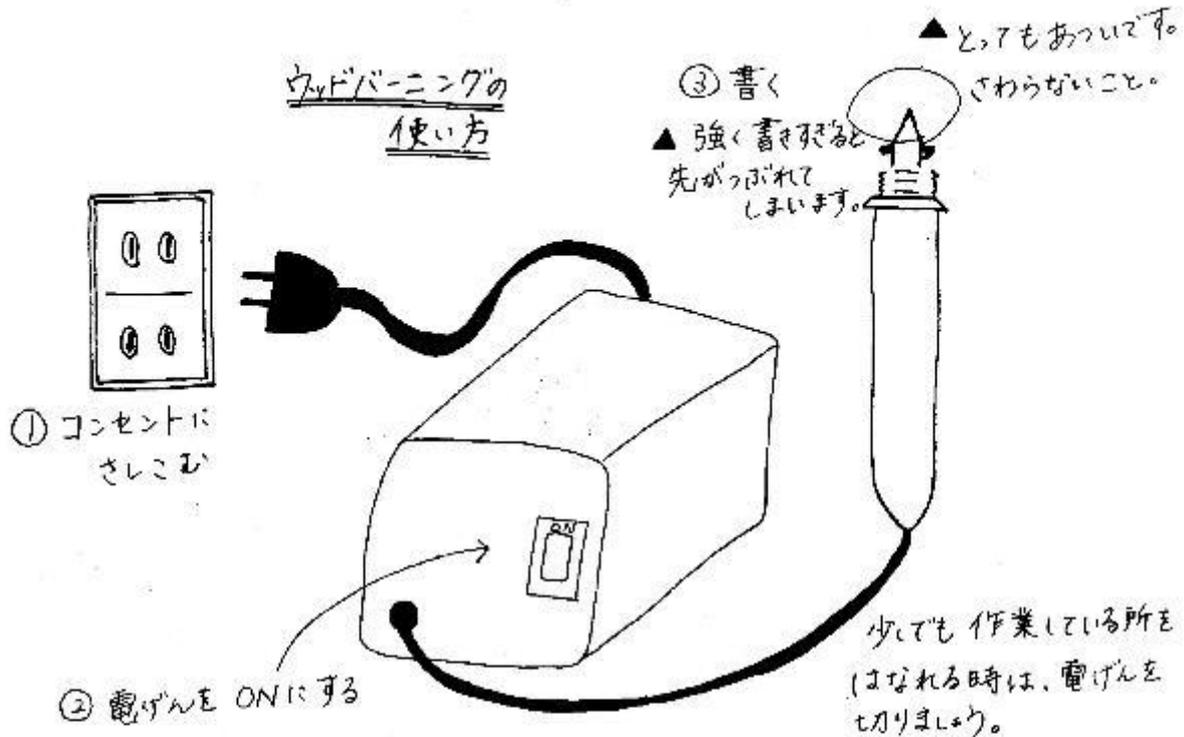
ウッドバーニング



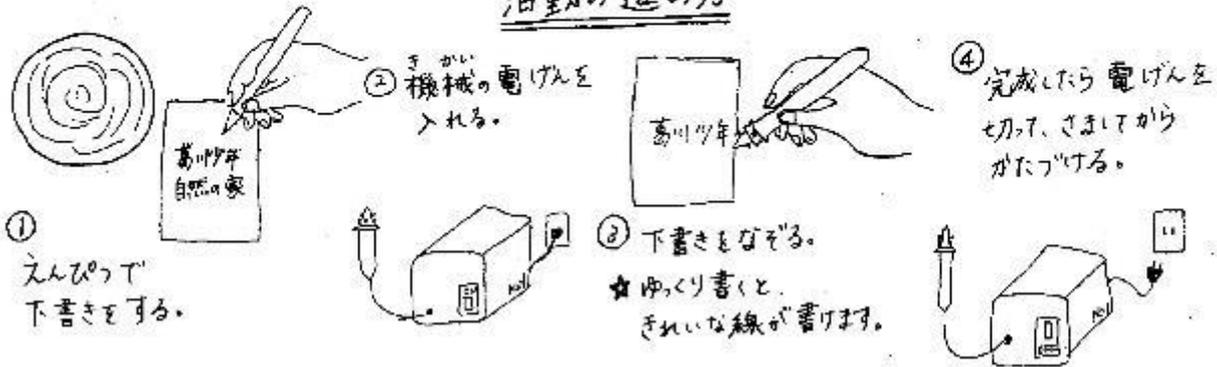
活動場所	ホール、プレイルーム	自然の家にあるもの	木のはがき、木のワッペン、木のコースター、紙やすり（以上、有料） 延長ドラム、電気熱ペン（70セット）
所要時間	1時間程度		
人数	50人程度	利用者で用意するもの	筆記用具、必要に応じてボンドやポスターカラー、飾りつけに使うもの

工作用熱ペンを使って絵付けなどを行います。ペン先に電気が流れ、その発熱を利用して木材に自由に絵や文字を書くことができます。人工林の間伐材を活用し、木のぬくもりを感じながら手軽に楽しく創造的な作品を作ることができます。また、創作活動を通して、木の特徴に気づくこともできます。ビーズやモール、拾ってきた木の実などを貼って飾りつけたり、置き物や壁飾りなども作ったりすることができます。

ウッドバーニング



活動の進め方



とくに大切なこと

- ① ウッドバーニングのペンの先はとともあつくなるので、ぜったいにさわりません。
- ② 書くときに強く力を入れすぎるとペンの先がつぶれてしまうので、ゆっくりやさしく書きましょう。
- ③ ウッドバーニングをかたづけるときはしっかりとさまして、箱と機械の番号をそろえてかたづけましょう。

1. 学習内容

めざすもの（評価）	関連教科	学び（単元）
<ul style="list-style-type: none">・小刀を使う活動を楽しみながら枝や木の棒を削って、作りたいキーホルダーや小物を作ることができる。・自分の選んだ木材と使う道具の特徴を考えながら進んで作品を作ることができる。	図画工作	4年「サクサク小刀名人」 4年「使ってみよう ざいりょうと用具」
<ul style="list-style-type: none">・木材や枝、葉などを加工し、自然にあるものの素晴らしさを理解するとともに、森について興味を持ち、調べることができる。	総合的な学習	「環境」

2. ポイント

ア) 活動前

- ・この活動は購入した木のはがきや木のコースター、木のワッペンまたは丸太切りをした後の丸太を使用した活動となる。
- ・作業する際は下に新聞を敷く。
- ・木の実や小枝、その他飾りになるものを用意し、貼り付けることもできる。
- ・やすりで表面を磨くと、よりきれいに書くことができる。
- ・たいこちゃんの焼印は指導者の方で押す。また、焼印は温まるまでに時間がかかるので、使用する際は活動を始める前に申し出る。

イ) 活動中

- ・ペン先がとても熱くなる。触らないよう指導する。
- ・子どもたちが作業しているところから離れる時は電源を切るよう指導する。
- ・ペン先がつぶれることがあるので、強く書かない。
- ・ペン先がつぶれて書けない場合は、ペンチを使って形を整える必要がある。申し出ること。

ウ) 活動後

- ・使用したウッドバーニングは冷めていることを確認し、同じ番号の書かれた箱に片付ける。
- ・乾かしたいものがある場合は、乾燥室を使うことができる。

3. 安全対策について

--